

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリ児童デイサービス はっぴークローバー		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 2日		令和8年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 2日		令和8年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご相談がしやすいように、営業時間外(24時間体制)で柔軟に対応している。	帰宅後や休日等にもご連絡をいただくことにより、ご利用日以外の日にもすぐに対応できるようにしている。 ご家族の方やご利用児童の方にも「安心できます」「いつも助かっています。」とご好評頂いています。	今後も継続して取り組んでいきます。
2	作業療法士が設立したデイの為、リハビリ視点からのアプローチを用いたイベントや自立にむけたプログラムが充実している。	多様で楽しい充実したプログラムを実施している。 プログラム作成には経験豊富な職員と意見を出し合っ、感覚統合を用いた様々な体験や経験を楽しく重ねてもらえるようにしている。	今後も継続して取り組んでいきます。
3	職員の勤続年数が高い。 チーム支援体制の充実。	職員間での情報共有を密に行い、統一した支援を提供している。 開所当初から管理職も変わらず勤務しており、非常勤の指導員も勤続年数が高い。 そのため子どもたちとの信頼関係も構築しており、急な変化にもすぐに対応できている。	今後も継続して取り組んでいきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会を実施していない。	父母会を希望される方が少なく、実施には至っていない。	希望される方のみで実施していくか、引き続き事業所内での検討を行う。
2	地域の子どもたちとの交流が少ない。	パニックや突然の飛び出し等の特性があり、安全管理上での配慮も難しい。 時間帯等も合わず、交流の機会としては難しい。	地域のごどもたちとの交流機会として、イベント等を引き続き検討していく。
3			